

雲仙岳

1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは、1 (静穏な火山活動) でした。

2 概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

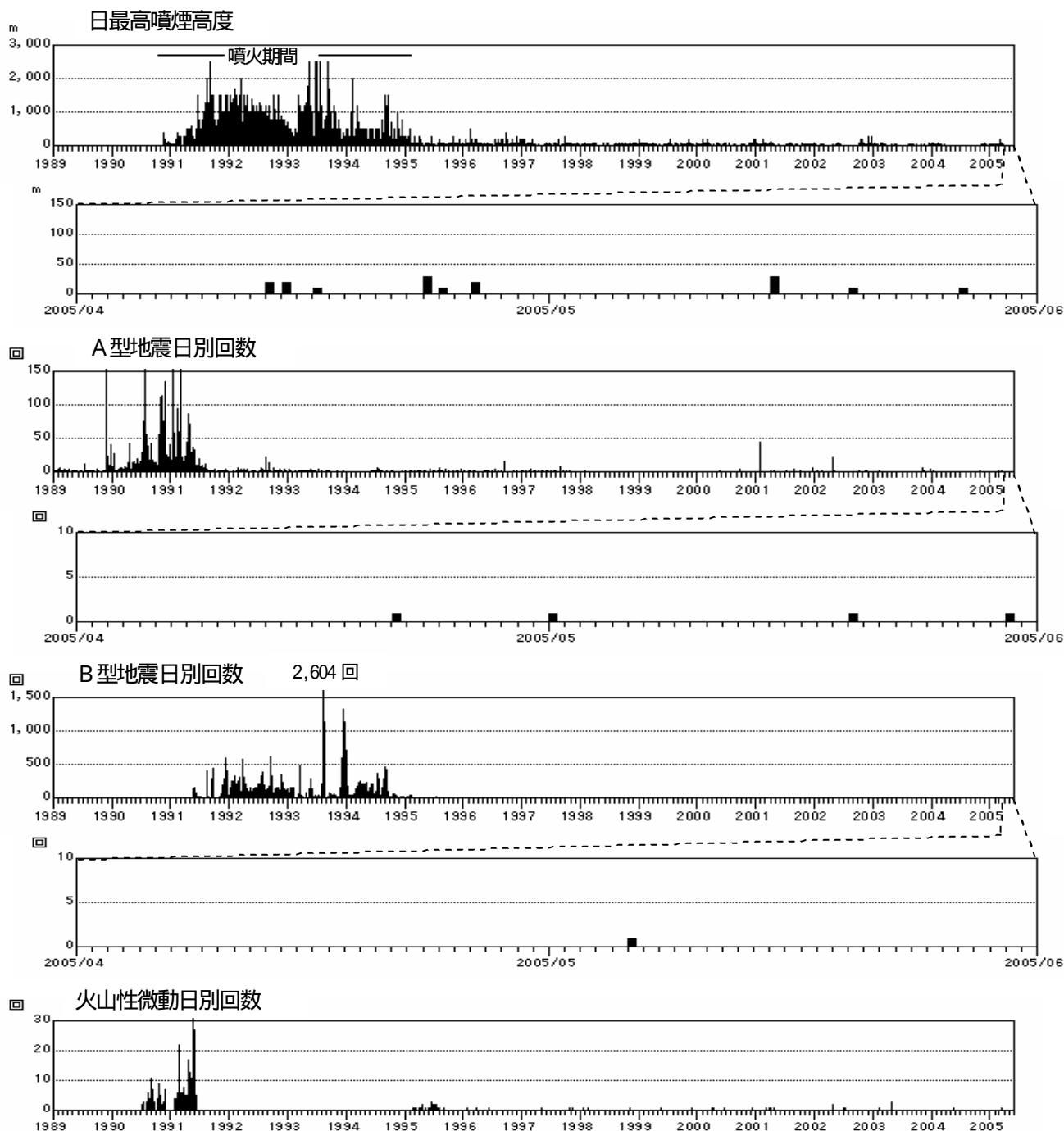


図1 火山活動経過図(1989年1月～2005年5月)

1995年2月の噴火活動停止以降、噴煙活動、地震・微動活動はともに低調です。

2005年5月の噴煙は白色・ごく少量、噴煙高度の最高は15日の30m(4月:30m)で、特に異常は認められませんでした。

2005年5月のA型地震の発生は3回(4月:1回)でした。B型地震の発生は1回(4月なし)でした。また、火山性微動の発生はありませんでした(4月なし)。

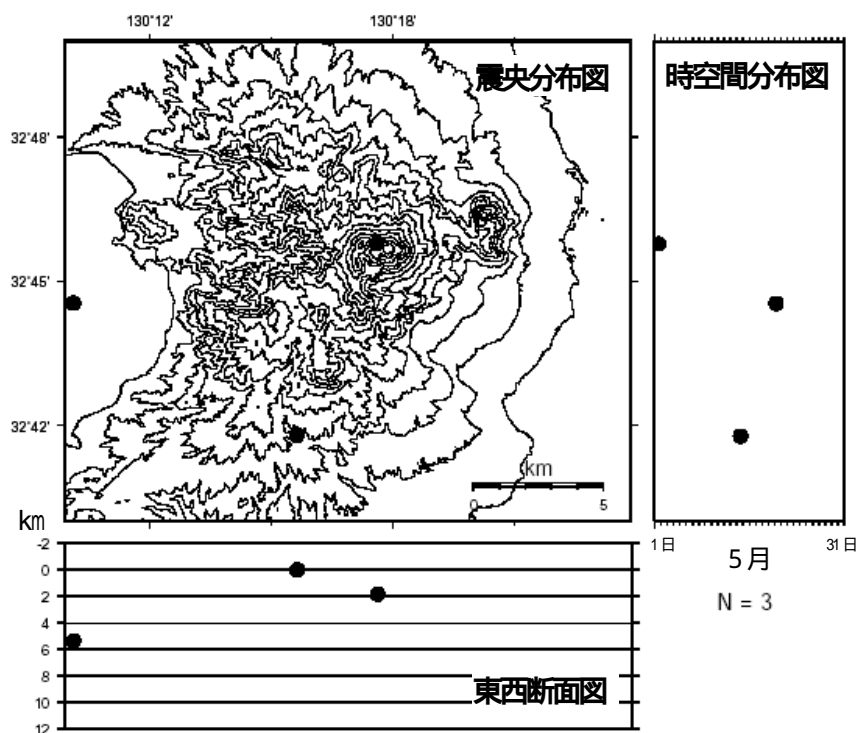


図2 火山性地震の震源分布(2005年5月1日~31日)

本資料は、九州大学、気象庁のデータを用いて作成しました。

2005年5月に観測した火山性地震のうち、3つの地震の震源が求まりました。震源は平成新山付近、島原半島南部、橘湾内の3ヶ所です。

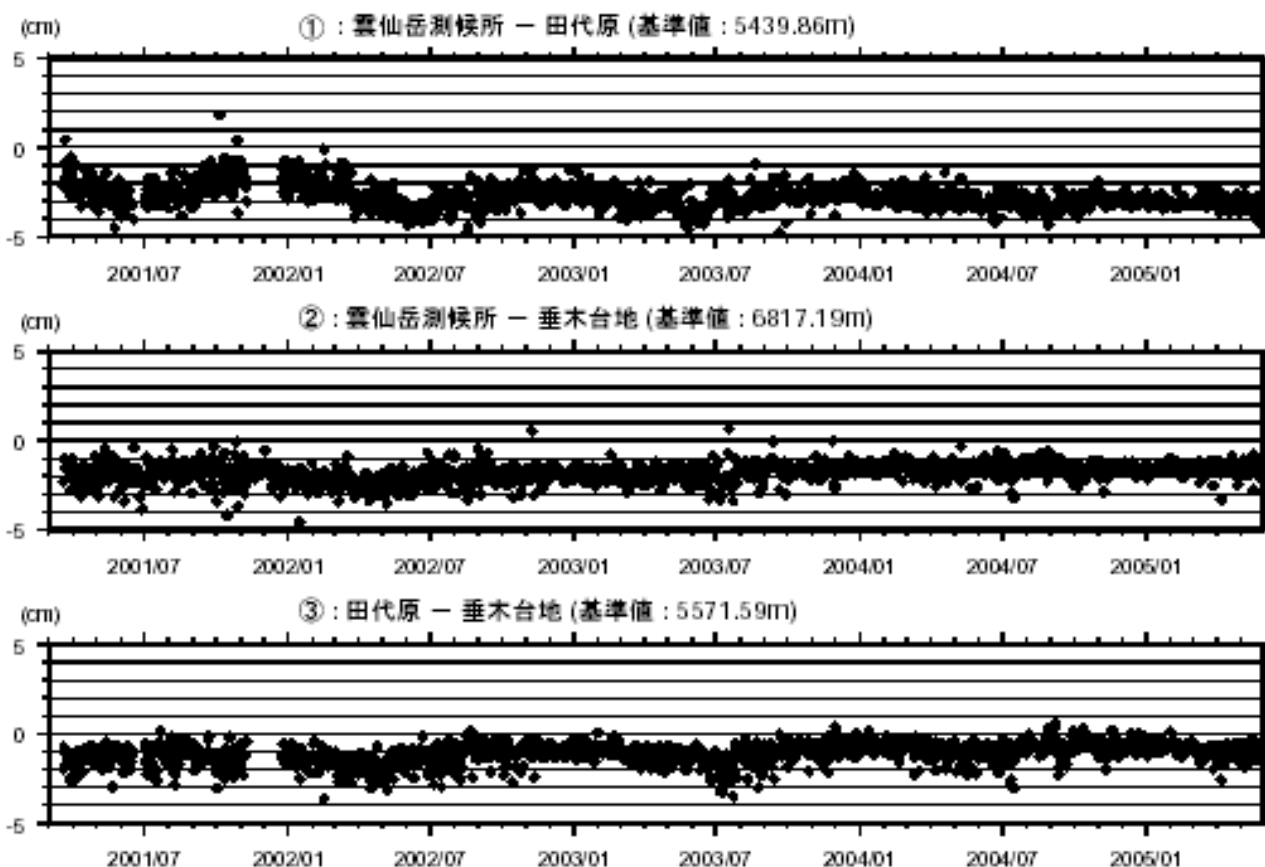


図3 GPSによる基線長変化(2001年3月20日~2005年5月31日)

GPSによる地殻変動観測では、雲仙岳測候所-田代原、雲仙岳測候所-垂木台地、田代原-垂木台地の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化はありませんでした。

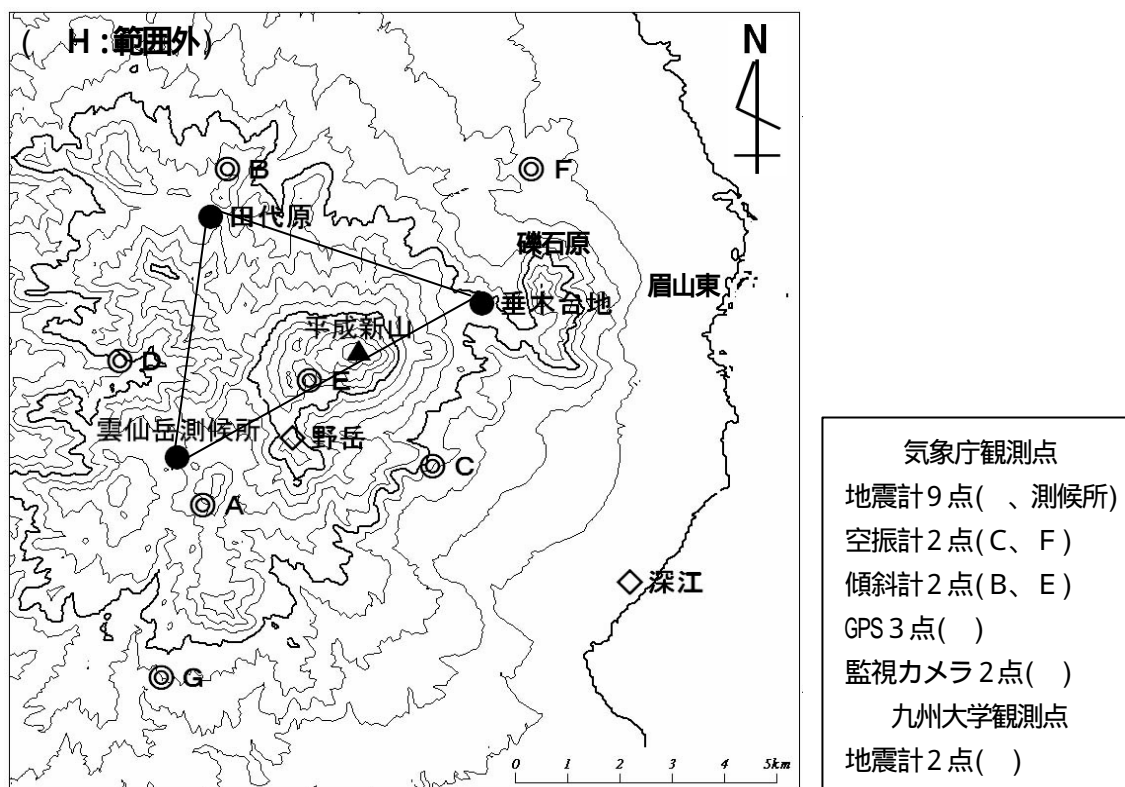


図4 観測点位置図

3 平成新山の状況

5月19～23日に火山機動調査観測を実施しました。平成新山の表面温度の分布には大きな変化は見られませんでした。全磁力観測によると熱活動は徐々に収まっているようです。

[熱映像観測]

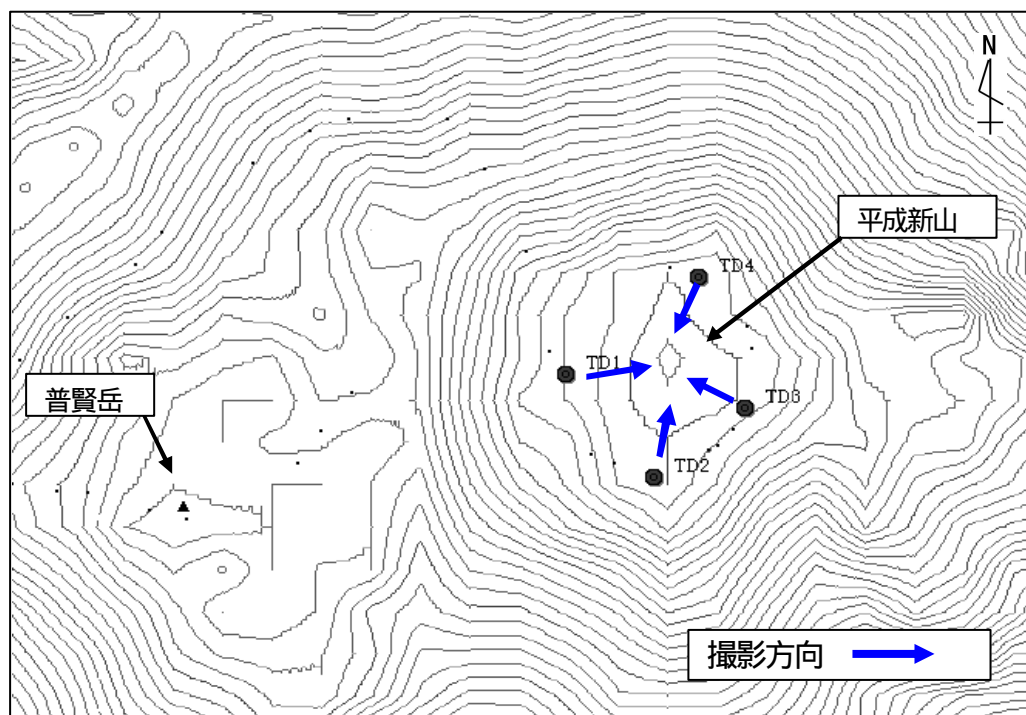
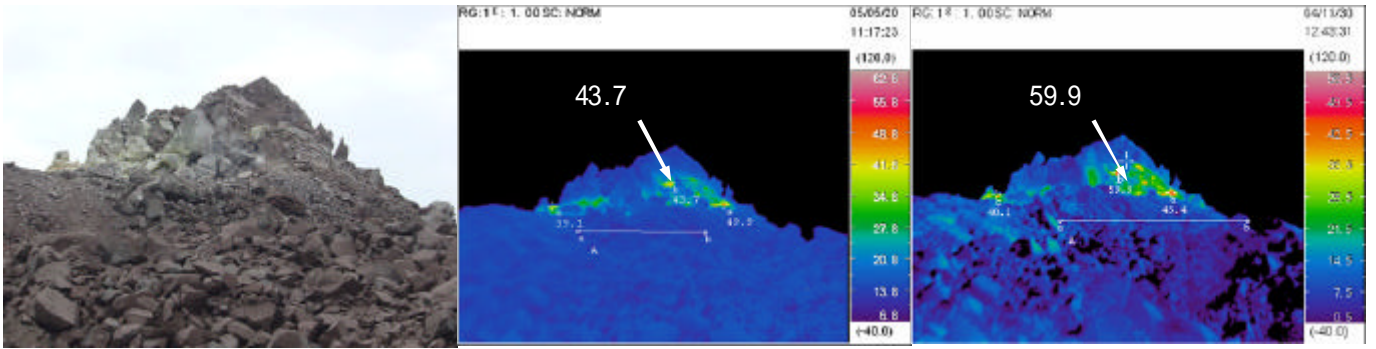


図5 熱映像観測点位置図(TD1～TD4)

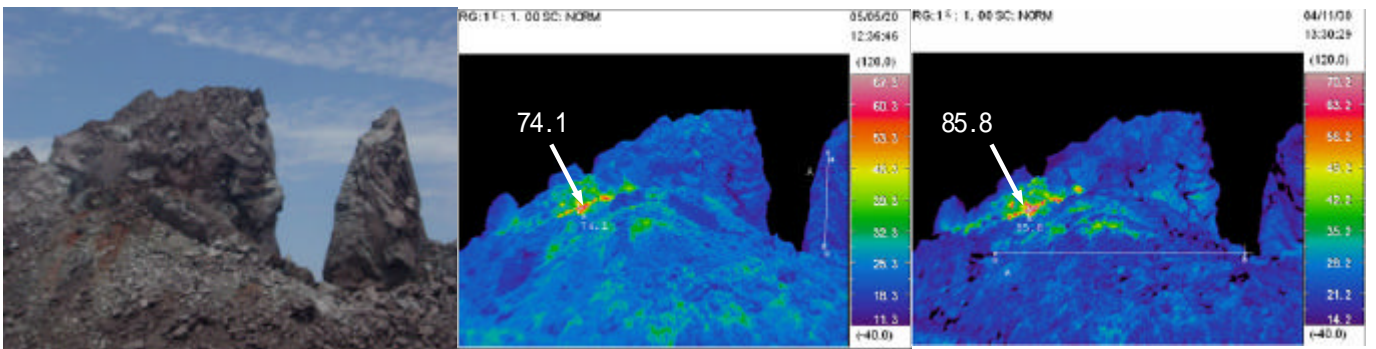
写真(今回)

熱映像(今回)

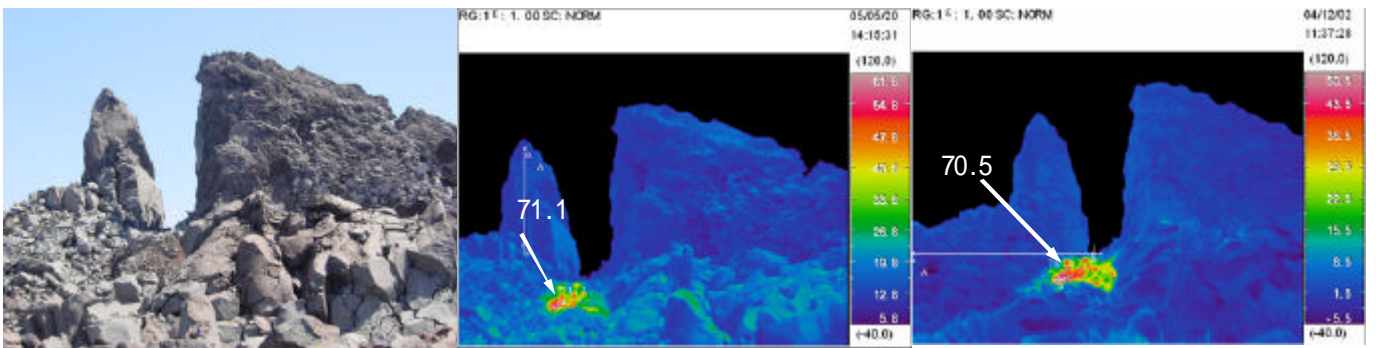
熱映像(前回:2004年12月)



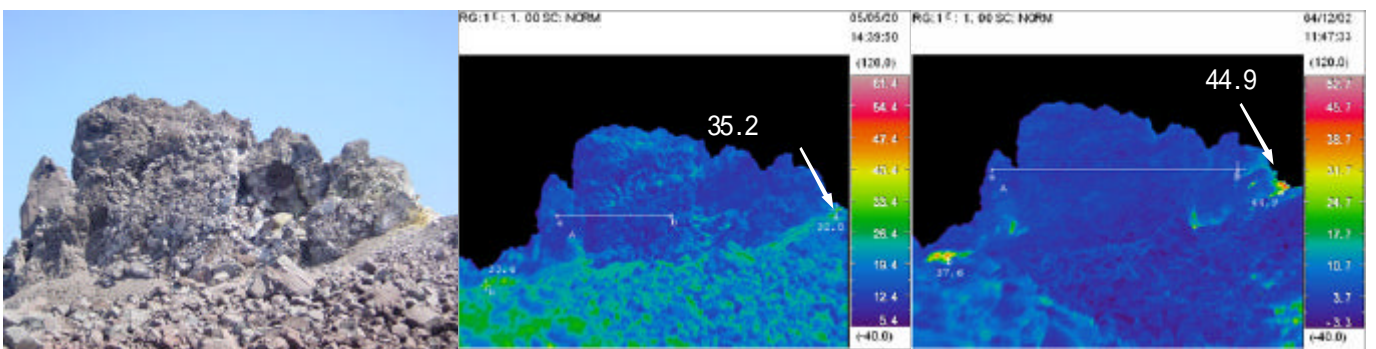
(a)TD1



(b)TD2



(c)TD3



(d)TD4

図6 平成新山の写真と熱映像

表面温度の分布には、前回(2004年12月)の観測と比べ、大きな変化は見られませんでした。

[全磁力繰り返し観測]

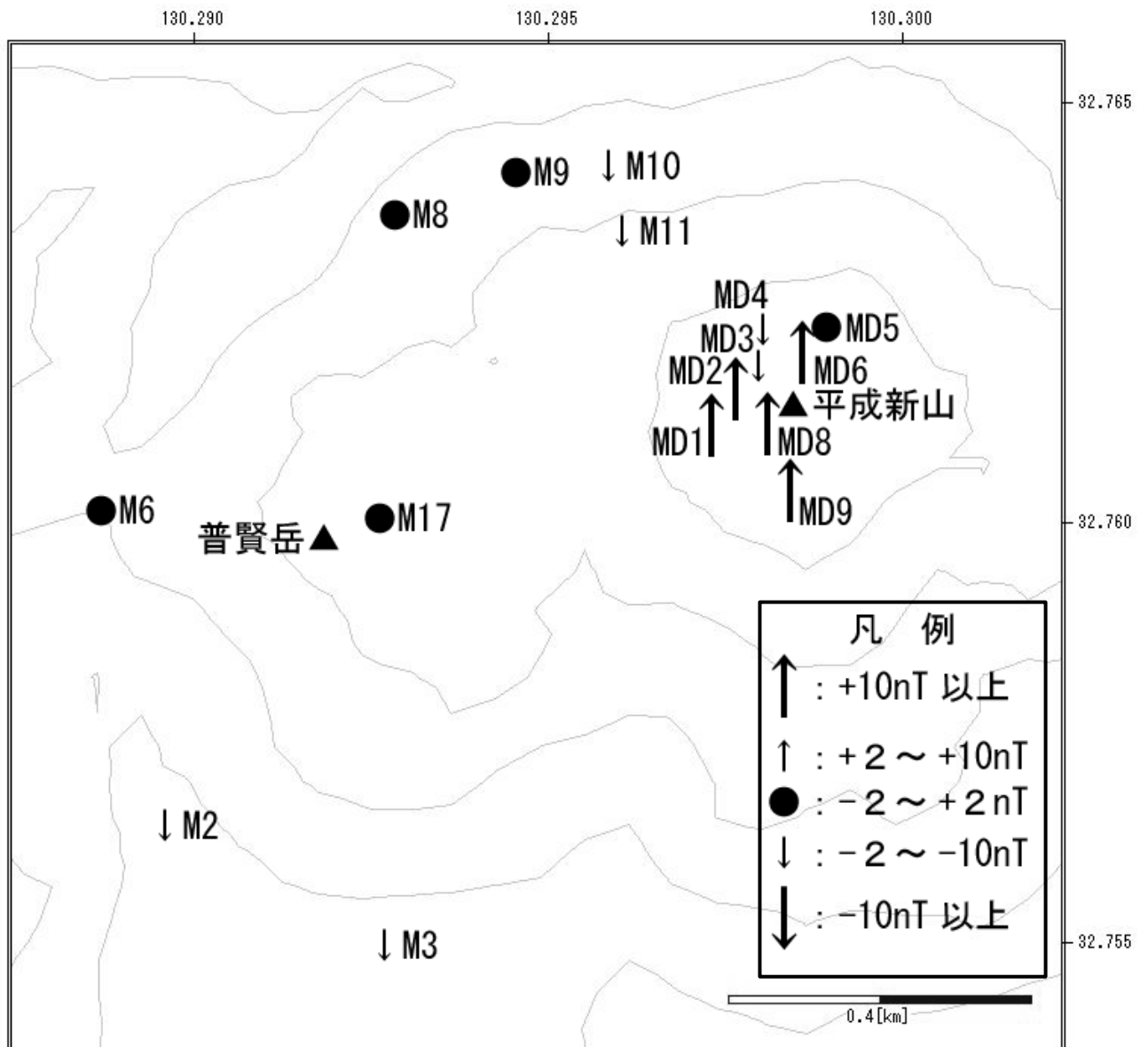


図7 全磁力繰り返し観測における今回(2005年5月)と前回(2004年7月)との観測値の差
 平成新山の南側の観測点は全磁力が大きくなり、北側の観測点では変化なしもしくは小さくなる傾向が、前回(2004年7月)の観測と同様に続いています。これは平成新山の熱活動が徐々に収まっていることを示しています。